

「より良い都市、より良い生活」をテーマとする 2010 年中国上海万博は 5 月 1 日から 10 月 31 日まで開催された。上海万博のシンボルマークは漢字の「世」をベースに創意を加え、数字「2010」と巧みに組みわせている。その形は三人の腕がつながり、抱き合っているようにも見え、幸せな家族を表わすと同時に全人類が手をつなぎ、未来へ向かって歩いていく姿を重ね合わせている。また上海万博の「理解、疎通、楽しく集う、協力」との理念をも表現している。マスコットの名前は「海宝」で、「四海の宝物」を意味する。漢字の「人」をモチーフにした「海宝」は互いに支え合っている「人」の字の形をもって、美しい生活は人々が平和に生き、協力しあうことによって造られると強調している。

2010 年に、上海万博を見ましたか。

ええ、あのとき、私は留学生ボランティアとして特別招待を受けて上海万博を見学しました。

そうですか。上海万博を見てどう思いましたか。

何といっても各国のパビリオンに特色がありましたね。上海万博のテーマも素晴らしいですね。

そのとおりですね。上海万博のテーマは、英語では、「ベターシティー、ベターライフ」といいますが、日本語ではどういいますか。

「より良い都市、より良い生活」と訳されているようです。

そのことばは都市と人間、人間と自然、人間と人間の調和と融合をよく表わしていますね。

だからこそ、上海万博のロゴは漢字の「世」という字と 2010 の文字をベースにデザインされているんですね。

ええ、イメージから見て、抱き合っている三人家族の睦まじさを表現し

ていると同時に、あなた、わたし、かれという全人類を意味し、上海万

博の「理解、疎通、楽しく集う、協力」という理念を強調しています。

そうですね。上海万博はとても成功した、素晴らしい、忘れがたい万博ですね。世界各国からの観光客はどのくらいだったのでしょうか。

七千万人くらい来たそうです。そのために、上海は空港を拡張したり、鉄道を整備したりしました。

上海万博は文字どおり国際的なイベントですね。その規模の大きさに圧倒されました。

上海万博の会場は南浦大橋と盧浦大橋をはさんで、黄浦江兩岸にまたがっている広いところを会場にしていました。各国のパビリオンが百あまりも設けられました。

万博軸、テーマ館、万博センター、文化センター、とくに東方の冠といわれる中国館を見て上海万博の雄大さに深い感銘を受けました。

上海万博の成功は世界各国の支持や援助とはきりはなせません。とくに日本の大阪万博、愛知万博の素晴らしい理念とすぐれた取り組みをいろいろ学びました。

お言葉どうもありがとうございます。世界とアジアの発展のために一緒にがんばりましょう。

私と上海万博

上海万博ボランティア・センターの募集に応募して、私は日本人留学生ボランティア・スタッフの一人になりました。私はずっと上海にあこがれていました。大学時代から上海で働いてみたいと、夢見てきました。とくに上海での留学中、世界各国から来ている留学生と知り合い、友達になりました。異文化に触れて学ぶことも多くあり、現地の方々には色々と助けてもらったり、元気づけられました。日中友好のけ橋になりたいと願っている私は、そのお返しができればと、上海万博のボランティア募集に応募したのです。上海万博の円滑な活動を助けるために、語学試験をはじめとする選考をパスした私たちは、上海万博の理念、ボランティアの活動、中国語のレベル・アップなどの研修を行いました。私たち留学生は二か月ほどの夏休みを利用して来場者に対するパビリオンへの案内、会場地図の配付、日本人の迷子や呼び出し人への応などを担当しました。マナー研修のおかげで、基本の笑顔、挨拶の仕方、立ち居振る舞いからバリア・フリー、気配り、救急時の対応に至るまで、しっかりと指導していただいたので、開幕本番には、自信をもってお客様を接待することができました。もちろん、お客様は十人十色で、マニュアル通りにはいかない場合も多くあ、色んな場所で色んな役割に臨機応変に対応しなければなりません。お客様が楽しんでいただけるように、また、このパビリオンにもう一度来たいと言われるように、私はどんな場合でも笑顔と挨拶を絶やさず、すぐれたボランティアの役を務めました。待ち時間や暑さで不機嫌そうなお客様でもこちらが笑顔で挨拶すると、必ずにこっと笑顔に返って、元気を出してくれました。一人でも多くのお客様に満足していただけるように、上海万博の魅力を心から伝えていく中で、疲れきったお客様が笑顔になる瞬間が私の一番の幸せでした。その笑顔を見て、人間と人間の出会いを大切にすること、感謝の気持ちを忘れないことを心に誓いました。この緊張感が続く接待の中で、ご案内したお客様が、「上海万博は素晴らしい、みなさんの接待も素晴らしい、ありがとう」と言いながら、強く手を握ってくださった瞬間の感動は、一生忘れることができません。上海万博はあっという間に終わりましたが、二か月ほどのボランティア生活は、私の人生の中でとても大切で、何よりも貴重な体験でした。

